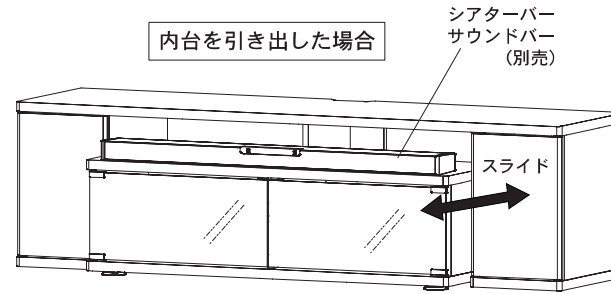
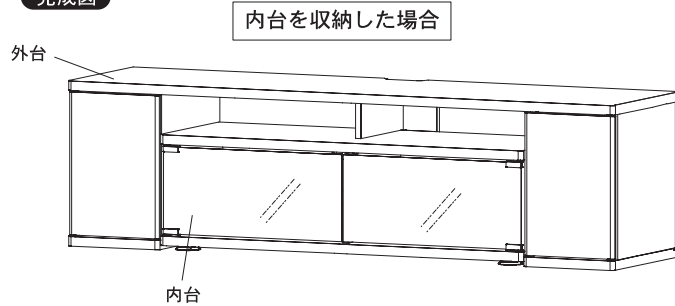


お買いあげいただきありがとうございます。
組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

●商品、組み立てに関する
お問い合わせは
右記URL、電話番号まで

完成図

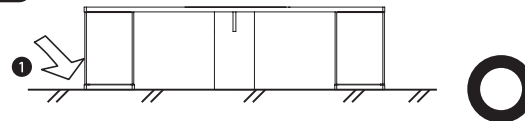


【耐荷重】
天板[大]: 50kg以下
天板[小]: 10kg以下
棚板: 各 5kg以下
底板: 各 10kg以下
総耐荷重: 100kg以下
*この範囲内でお使いください

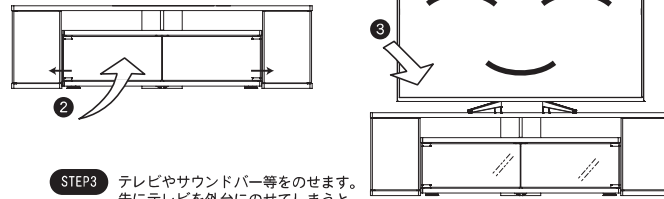
No.	部品図	部品名	数量	No.	部品図	部品名	数量
①		マグネットラッチ (W)	1	⑨		連結ボルト	2
②		マグネットラッチ (S)	2	⑩		キャストトレイ	2
③		マグネットラッチ用取付けネジ	6	⑪		裏板ストッパー	14
④		ラッチピン	14	⑫		裏板ストッパー用ネジ	14
⑤		ラッチピン	8	⑬		転倒防止ロープ	1
⑥		回転ピン(A)	2	⑭		ワッシャー	2
⑦		回転ピン(B)	2	⑮		転倒防止ロープ用取付けネジ	1
⑧		プレート	2				



STEP1 外台を設置したい場所に置きます。

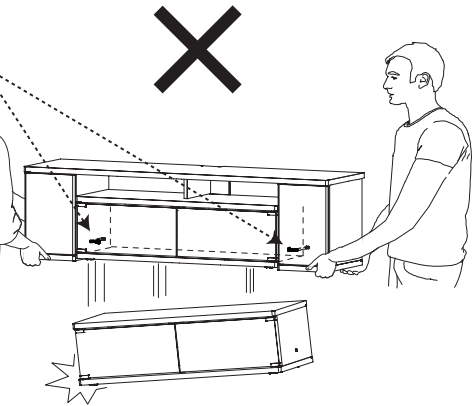


STEP2 内台を入れて外台と連結します。
【【工程13】参照】



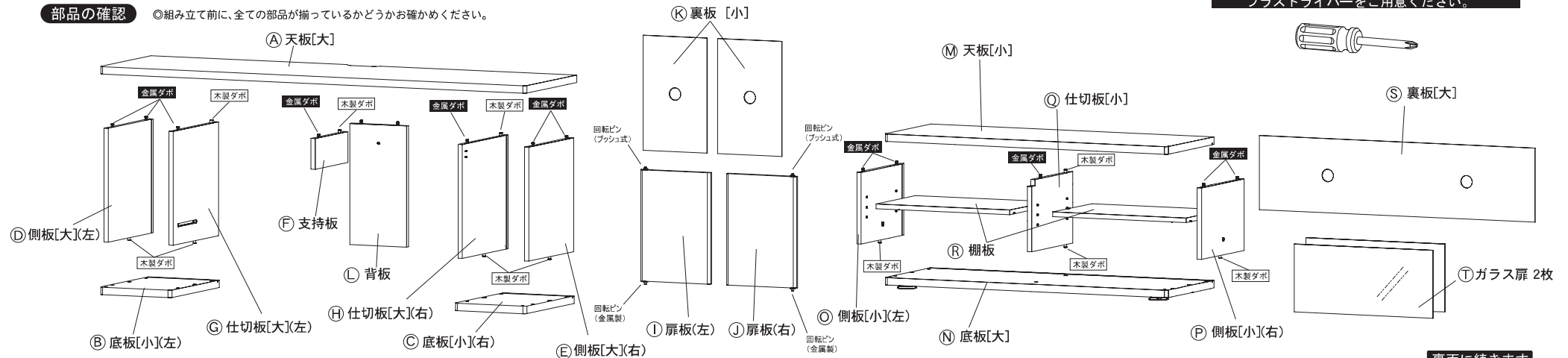
STEP3 テレビやサウンドバー等をのせます。
先にテレビを外台にのせてしまうと内台が入りません。

⚠ 連結ボルトを付けたままラックを持ち上げないでください。
連結ボルトが外れて内台が落下する恐れがあります。



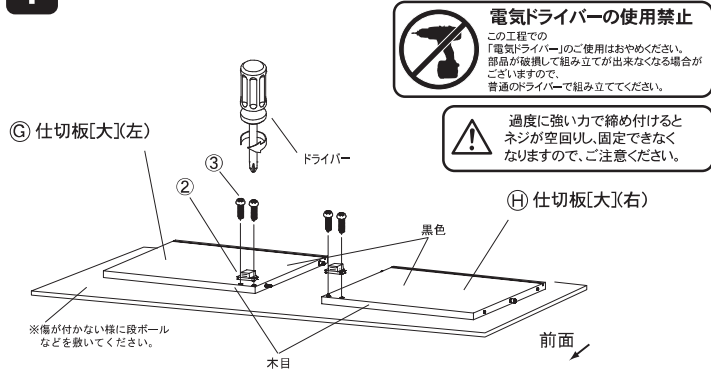
部品の確認

◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうか確かめください。

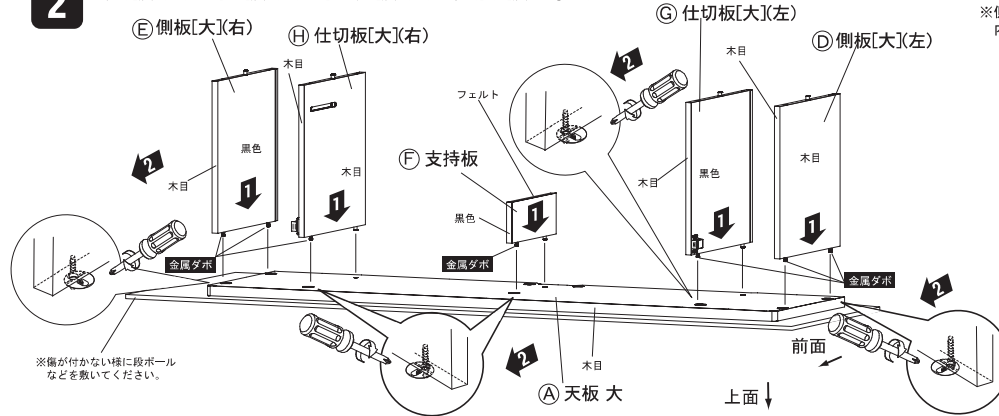


裏面に続きます

1 仕切板[大](左)(右)へ、マグネットラッチの取り付け



2 天板[大]と側板[大]、仕切板[大]、支持板の組み立て



手順

※側板[大]、仕切板[大]には左右があります。内面外面に気を付けて組み立ててください。

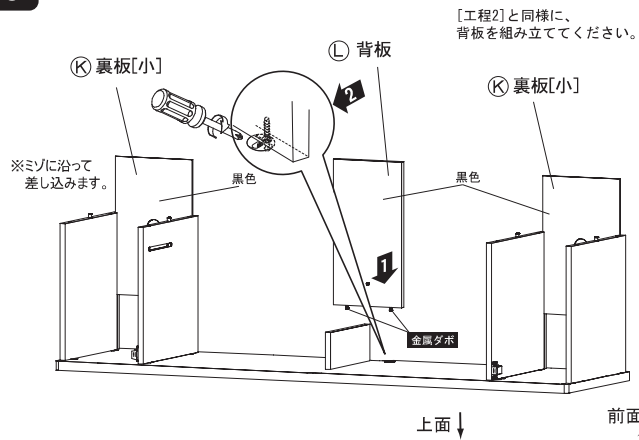
1. 側板[大]、仕切板[大]、支持板を天板[大]のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。

2. プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。

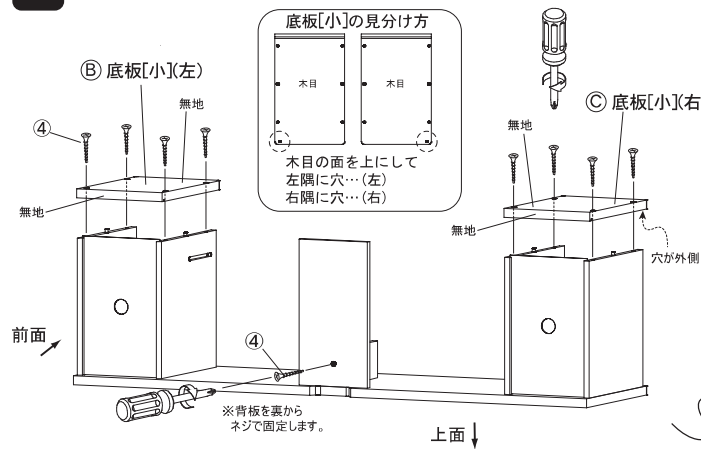
側板[大]、仕切板[大]、支持板を上からしっかりと押さえて、組み立ててください。※押さえが不十分だとジョイントをロック出来ない場合があります。

うまくロックできない場合は、一度ドライバーで(逆)に回して最初からやり直してください。

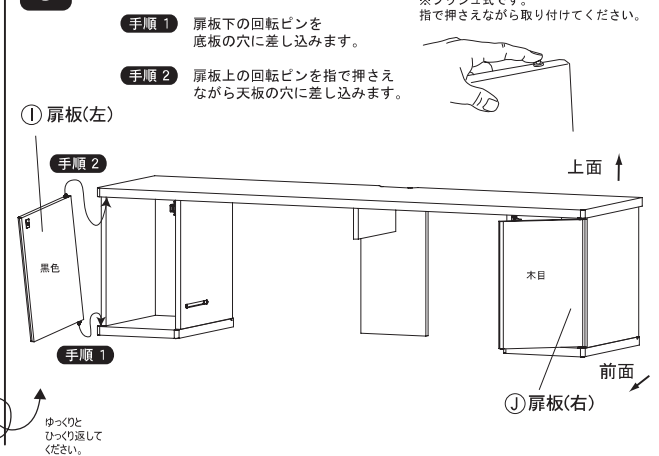
3 裏板[小]、背板の組み立て



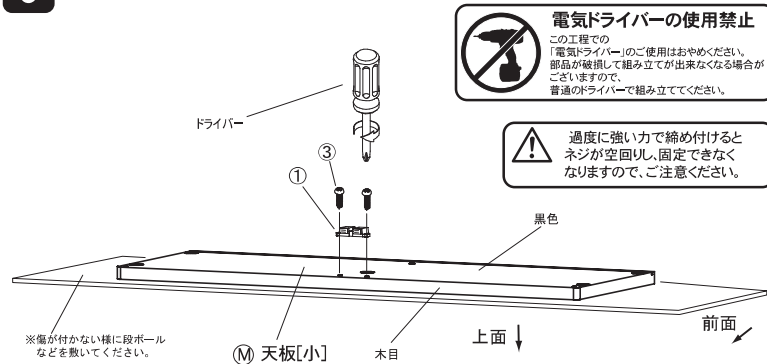
4 底板[小]、背板の組み立て



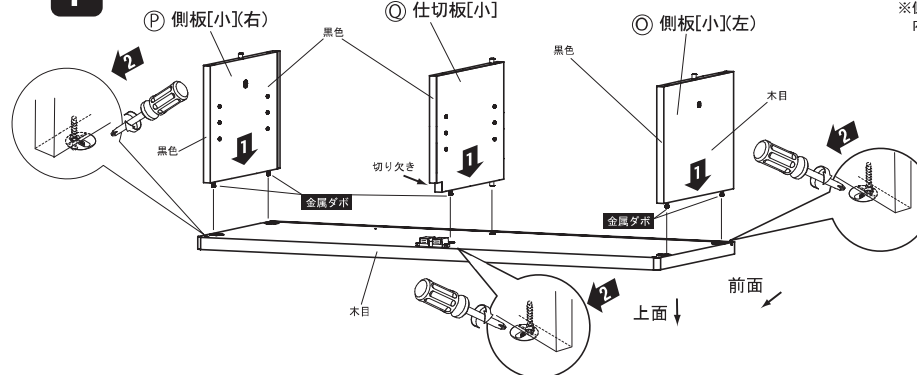
5 扉板の組み立て



6 天板[小]へ、マグネットラッチの取り付け



7 天板[小]と側板[小]、仕切板[小]の組み立て



手順

※側板[小]、仕切板[小]には左右があります。内面外面に気を付けて組み立ててください。

1. 側板[小]、仕切板[小]を天板[小]のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。

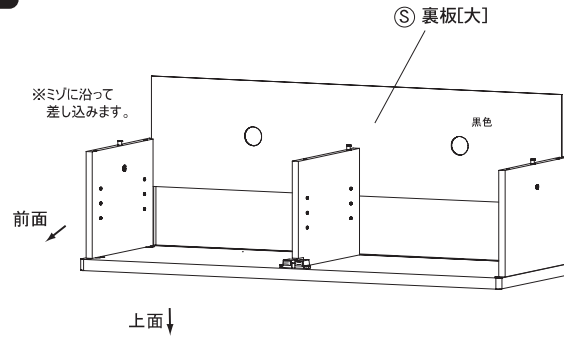
2. プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。

側板[小]、仕切板[小]を上からしっかりと押さえて、組み立ててください。※押さえが不十分だとジョイントをロック出来ない場合があります。

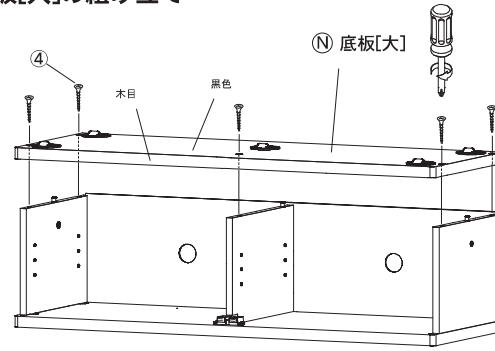
うまくロックできない場合は、一度ドライバーで(逆)に回して最初からやり直してください。

2枚目に続きます

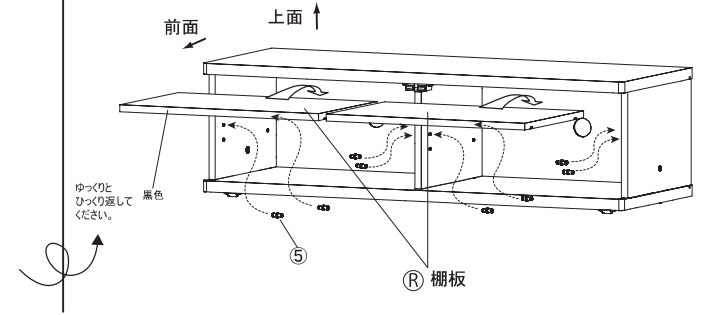
8 裏板[大]の組み立て



9 底板[大]の組み立て

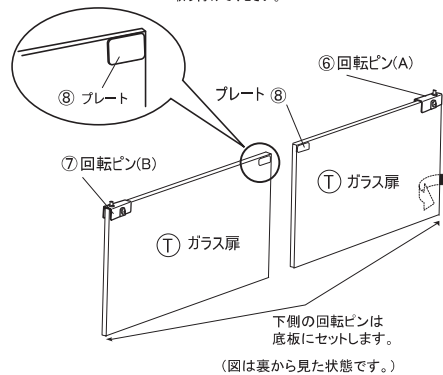


10 棚板の組み立て



11 ガラス扉の組み立て

ガラス扉を図のように2枚セットし、取り付けてください。



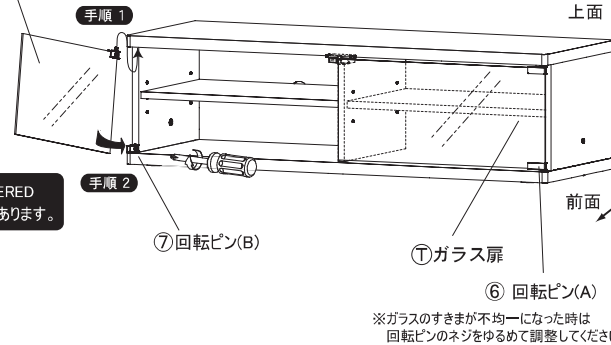
① ガラス扉

- 手順 1** 上のピンを 穴へ入れます。
- 手順 2** 先に下のピンを穴へ入れてから、ガラスをセットします。

注意

ガラス扉のフィルム面は裏(内側)にしてください。フィルム面に傷をつけると破損しやすくなり、けがをする原因となります。

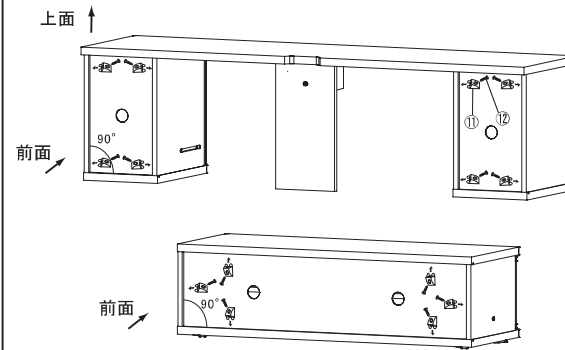
手順 1



手順 2

※ガラスのすきまが不均一になった時は回転ピンのネジをゆるめて調整してください。

12 ストッパーの取り付け

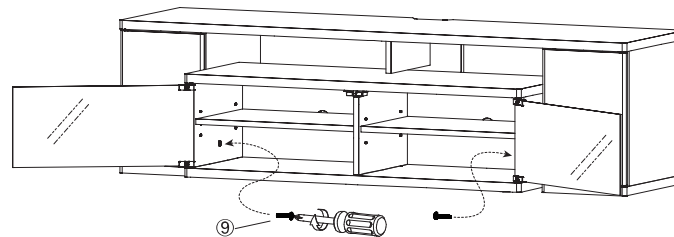
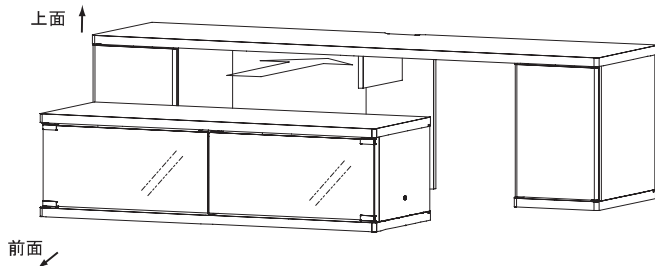


- ⑪ 裏板ストッパー
⑫ 裏板ストッパー用ねじ

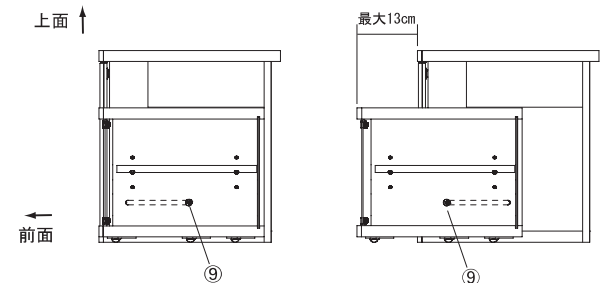
裏板[大][小]と、それぞれ面している側板、仕切板、天板、底板のスキマに裏板ストッパーを差し込み、ねじで固定してください。

その際に天板と側板、仕切板が直角になるように調整しながら取付けてください。

13 外台と内台の連結

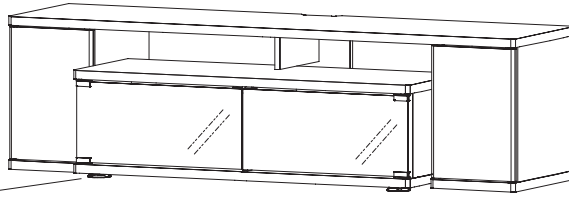


内台の側板[小]の穴を、外台の仕切板[大]の溝に合わせて連結します。連結ボルトが溝の一番後ろにあるときは、内台は外台に収まり、一番前側にある時は、内台は外台から13cm飛び出た状態となります。



裏面に続きます

※移動される時以外は、必ず
キャスタートレイをご使用ください。



⑩ キャスタートレイ

テレビ転倒防止(前面方向)についてお願い

テレビにお子様が登場したり、揺すったり、押したりされるとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

テレビの転倒防止処置についてはテレビ付属の転倒防止用部品にて対応出来る場合もございます。テレビの取扱説明書をご参考の上、テレビ付属の転倒防止用部品かAVラック付属の転倒防止用部品のどちらか適した方を選択しお取付けください。

【テレビの形状により下図の様に取付けできないものもございますので、ご了承ください】

- AVラック付属 転倒防止用部品 ⑬ 転倒防止ロープ … 1  ⑭ ワッシャー … 2  ⑮ 転倒防止ロープ用 取付けネジ … 1 

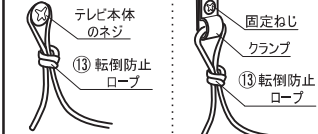
※テレビ側に固定するネジは付属しておりません。

手順 1

テレビ本体のねじまたは、テレビに付属されている転倒防止用具(固定ねじ・クランプ等)にロープをかけます。

※取付穴は壁掛け金具取付用ネジ穴などを使用します。

〈テレビ本体のねじの場合〉 〈クランプの場合〉



上図の様にロープを結んで取付けをします。
※必要に応じて⑭ワッシャーをご使用ください。

手順 3

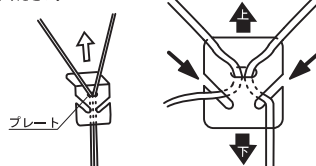
片側と同様にロープを取付けます。

重要!!

テレビ内部やコンセントに入らないようなあまったロープは巻き付けるまたはテープなどで止めてください。

手順 4

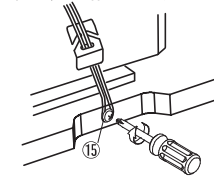
ロープがV字状に取付けが出来たらプレートを図の向きにし、上に引き上げてロープを張らせませす。ロープが張った状態でプレートのミノにロープを引っ掛けて固定します。最後に⑮の転倒防止ロープ用ネジをしっかりと締付けてください。



【注意】
ロープを張りすぎるとテレビが転倒する恐れがありますのでご注意ください。

手順 2

ロープが輪になっている部分を図の様に転倒防止ロープ用ネジで天板に仮固定をします。
ネジは完全に締めないでください。



使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- テレビやAVラックにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください
テレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 振動のある場所に置かないでください
振動でテレビが転倒したり機器が落下しけがの原因となります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください
テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください
AVラックの強度が保たれなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

- 薄型テレビ以外のものを載せないでください
本製品は薄型テレビを載せる専用AVラックです。その他のものや重いものを載せないでください。
- 高温・多湿の場所に置かないでください
直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。
- 移動・設置において
● 移動させるときは接続している機器を取り外してから行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。
● 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒する原因となります。
● キャスターで移動させる時はゆっくりと動かし、床面の段差がある所は持ち上げてゆっくりと動かし、フロアリング床の表面がやわらかい場合、キャスターの移動跡が残る恐れがあります。
- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください
さびや故障・変形の原因となります。
- 転倒防止の処置を行ってください
転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒しけがの原因となる場合があります。必要に応じて市販の転倒防止用具をご使用ください。
*付属している転倒防止ロープ(前面方向)は地震等の揺れに伴う転倒を最小限に食い止めるのが目的であり、万一お家様や家具等に障害が生じた場合、一切の損害に保証をお約束するものではありません。
- テレビはAVラックの中心に設置してください。
設置のバランスが悪いとテレビが倒れたりこわれたりして、けがをする恐れがあります。
※記載されている耐重を超える機器は載せないでください。
- 手や指はさみにご注意ください
ガラス扉や可動部に手や指をはさみこまぬようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時にもご注意ください。
- ガラス部品について
ガラスには強化処理を施していますが、使い方を誤ると割れる恐れがあります。割れるとガラスの破片が飛び散りけがの原因となりますのでご注意ください。
● ガラスに物をぶつける、ガラス扉に開けたままぶつかるなど強い衝撃を与えないでください。破損しやすくなり、けがの原因となります。
● 破損するまで使わず、破損がひどい場合は交換してください。
● 破損しやすくなり、けがの原因となる場合があります。
● ガラスに傷やかけがした時は、すぐに取替えてください。強化ガラスの場合ガラスに傷がつくと突然破損することがあります。
- 放熱を妨げないでください
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に押しつけてください。(10cm以上の間隔をあける)
- 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください
変形してテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

P.L.賠償制度付済

